

平成二十六年六月定例岡山市議会での佐藤人海の個人質問の答弁
 が山陽新聞岡山市民版に掲載されました。

県庁通り将来1車線化

歩道広げ回遊性高める

市議会で岡山市長意向

岡山市の大森雅夫市長は16日、2014年度中に現行の2車線を1車線に減らし、歩行者優先の空間をつくる社会実験を計画する県庁通りについて、将来の恒常的な1車線化を念頭に置いていることを明らかにした。



大森岡山市長が将来的に1車線化を目指す意向を示した県庁通り

道路として、車道を1車線とし、歩道を広げ、安全で快適な歩行空間の確保を進めたい」と述べた。時期や区間の明示はなく、都市整備局によると、社会実験の結果を踏ま

えて検討する方針という。社会実験は、市役所筋との交差点から東に約600メートルを交通規制によって1車線化し、オープンカフェを設けたり、アート作品を展示したりする。14年度中の土日祝日に12日程度を想定し、11月に予定されるJR岡山駅南でのイオンモール岡山の開業前後に分けて実施を目指している。

取材メモ

▽：岡山市の大森雅夫市長が16日の定例会議会で示した県庁通りを1車線化し、歩行者空間を広げる方針

通優先の歩いて楽しいまちづくり」を強調した。以上は張り付き、まちなかの活力創出につながる。▽：ただ、実現には

される。1車線化しても、脇を車がひっきりなしに通るような状況では「歩行者に優しい空間」とは言い難い。公共交通の充実、パークアンドライドの推進などで市中心部に流入する車を減らす方が併せて求められる。

イオン開業 本庁駐車場を有料

6月定例会議の本会議で、社会実験に関する市議の質問に対し「将来的に県庁通りは、上の中心的役割を担

は、市が目指す中心市街地の回遊性向上を具体化するものだ。市長は答弁で「車中心から人、自転車、公共交通

岡山、天満屋岡山店といたった商業施設をつなぐ市中心部の主要動線。1車線化すれば沿道に魅力的な店舗が今

車の流入減らす方策を

課題も多い。今でさえ渋滞が発生するとき岡山が開業すれば、さらなる車の流入が予想

(平松隆)

(平松隆)